



創立40周年 記念誌

皆さんに寄り添い共に歩み 40年
【社協の歩み～平成19年度より10年概要版】



社会福祉法人 桑折町社会福祉協議会



これからも、みなさんに寄り添い、
共に歩みます。

法人設立40周年御礼のご挨拶

社会福祉法人桑折町社会福祉協議会

会 長 鈴 木 研 宗

(1) はじめに 40年を振り返り

社会福祉法人桑折町社会福祉協議会
(以下、桑折町社協)は昭和52年9月28
日に社会福祉法人として認可され、今
年で法人設立40周年を迎えました。こ
れもひとえに歴代役職員のご尽力と町
ご当局、町民の皆様、各企業事業所、福
祉関係団体のご理解とご支援の賜であ
り、心から感謝と御礼を申し上げます。
桑折町社協は昭和30年12月に任意団
体として発足し、40年前の法人化以来、
町当局の指導と連携を密にしながら
様々な地域福祉事業を実施し、民間社
会福祉活動の中核的な役割を担ってま
いりました。

(2) 介護事業の立ち上げと取り組み

また平成12年4月に介護保険制度が
スタートすることにより、従来の高齢
福祉対策事業を見直し、介護サービス
事業所を立ち上げ、通所介護、訪問介
護、訪問入浴、ケアプラン作成事業、
在宅介護支援センターの事業を展開し
てまいりました。

このことにより、桑折町社協の規模、
スタッフも拡大増員となり、現在は50
数名を数えており、介護従事者の雇用
開拓にも寄与してきたのではないかと
思っております。また、介護事業の収
益を社協独自の福祉事業の充実に活用
でき、町の社会福祉事業や委託事業、
補助事業と相まって本町の福祉は大き
な進展を見ることが出来たと私自身も

高く評価しております。
(3) 大災害を共に乗り越えて

特記すべきは、平成23年3月11日発
生の東日本大震災、原発事故の対応で
あります。

発災から、被災者である桑折町民、
避難者である浪江町民に寄り添いなが
ら日々、個々人の生活支援と復興に向
けてボランティア、有志団体と共に
様々な活動を進めて参りました。この
節目の7年を振り返り、共に乗り越え
た大災害を風化させることなく、積み
上げた実践の成果と足跡を今後の備え
に活用し、継承することが大切と思っ
ております。

(4) 結びに 未来に向かって

設立40周年を契機として、到来する
超高齢社会が、健康で夢のある豊かな
長寿福祉社会となるために、皆さんと
共に手を携えて明日に向かって歩みを
進めてまいります。ありがとうございます
ました。



祝 辞

福祉の充実を共に連携して。

桑折町長 高橋 宣博

桑折町社会福祉協議会設立四十周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

桑折町社会福祉協議会におかれましては、昭和52年9月28日の設立以来、40年の長きにわたり、本町の福祉向上のため、『安心して生活することのできる福祉のまちづくりの実現』を目指し、ボランティア、地域包括支援、居宅介護支援、ホームヘルプサービス、デイサービス等、各種事業を展開するなど地域福祉の中核的な役割を担っていただいております。

これも偏に、これまでの組織・活動の基礎づくりにご励行された歴代会長はじめ役職員の皆様のご尽力の賜物と改めて敬意を表しますとともに、関係

機関団体並びに多くの皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

この間、平成23年には東日本大震災と原発事故による未曾有の大災害が発生しました。本町におきましては、逆境を乗り越え、着実に復興を進めるとともに、平成29年度からは、新総合計画「献上桃の郷創生プラン」をスタートさせ、輝かしい未来に向けたまちづくりのため各種施策に積極的に取り組んでおります。

一例として旧浪江町デイサービスセンターを活用して、献上桃の郷桑折いきいきサポートセンター「もんも館」を開所し、町と町社会福祉協議会が連携して、高齢者やシニア世代を対象に介護や介護重症化を予防するため、最

新の介護予防マシンを導入するなど、安全・安心にトレーニングできる体制を整備いたしました。桑折町民同士はもとより、浪江町民との交流の場としても、ご好評をいただいております。また、町の防災拠点となる役場新庁舎につきましては、平成33年度からの供用開始に向け「やすらぎ園」西側に整備を進めてまいります。

今後とも町社会福祉協議会との連携を強化し、町民一人ひとりが健やかで、希望に満ちた暮らしの確立のため、福祉施策の充実を図ってまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協議会が設立五十年、百年と更なる飛躍を果たされ、社会福祉の先導者、現場の実践者として充実した活動が行われますことを期待するとともに、町民皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。



法人設立40周年記念

社会福祉大会・

感謝のつどい 開催

桑折町社会福祉協議会は昭和52年9月28日に社会福祉法人として認可され、法人設立40周年を迎えました。この節目の年を迎え、永年にわたり地域福祉の推進に多大なるご支援とご協力を賜りました町民、各町内会、法人事業所の皆様へ感謝の意を表する「感謝のつどい」を開催いたしました。

町民に寄り添い、明日に向かって町民と共に歩みを進める大切な記念の大会になりました。



記

開催日時

平成29年10月15日(日) 午前10時30分より

開催会場

多目的スタジオ 「イコーゼ！」

行事内容

司会 事務局長 石幡 正則

第一部 社会福祉大会

『オープニング・チェリースハートミニコンサート』

開式の言葉 本会 理事 室井 峰夫

主催者挨拶 本会 会長 鈴木 研宗

感謝状贈呈 前 会 長 日下 厚様

前 評 議 員 鈴木 芙蓉様

桑折町赤十字奉仕団委員長 安細 朋子様

桑折町赤十字奉仕団委員長 渡辺 宮子様

行政連絡員連合会会長 工藤 信悦様

表彰状贈呈 職 員 代 表 鹿野ちか子様

来賓祝辞 桑折町長 高橋 宣博様

桑折町議会議長 片平 秀雄様

受彰者代表謝辞 桑折町共同募金 委員 会 会 長 吉田 良典様

万歳三唱 本会 理事 熊谷 孔隆

閉式の言葉 本会 理事 熊谷 孔隆

第二部 感謝の集い・記念講演会

ランチコンサート 「渋谷秀子コンサート」

記念講演 「伝えることの大切さ
伝わることの素晴らしさ」

(未来につなげる福島の復興)

講師 大和田 新先生

40周年記念表彰者

本会役員として社会福祉の進展に寄与した方々

(19名)

元社協会長	八巻恒造様
元事務局長	日下厚様
元理事(前副会長)	関直彦様
元監事	石幡邦弘様
元評議員	横山正春様
元評議員	吉田賢一様
元評議員	山川修様
元評議員	鈴木芙蓉様
元評議員	半沢信江様
元評議員	大橋順明様
元評議員	渡邊宏様
元評議員	蓬田トシ子様
元評議員	内村サク様
元評議員	近藤克美様
元評議員	二瓶亨様

奉仕活動に尽力し、地域福祉の進展に寄与した団体・個人

(6団体・6名)

桑折町赤十字奉仕団	安細朋子様
J Aふくしま未来伊達地区ふれ愛グループ協議会ひまわり会	横山節子様
日立オートモティブシステムズ	山木君子様
労働組合第三支部福島分会様	一条俊子様
こおりフラダンスクラブ	北澤浩様
こおりよさこいクラブ	渋谷秀子様
桑折ふる里民話の会	澁谷てい様
ボランティア個人	関口恭代様
〃	蓬田タイ子様
〃	山木君子様
〃	山室芳子様

サロン活動を運営し、地域福祉の進展に寄与した団体

(19団体)

いつてみっ会	渡辺宮子様
おげんき会	赤坂あけみ様
あった会	吉川弘美様
和みの会	吉田アヤ様
よらんしよ会	湯澤友子様
出てこらんしよ会	羽根田クニ様
本町サロン	穴戸興一様
平沢サロン	氏家博様
大畑サロン	佐藤カツヨ様

サロンの追分

西町サロン	二階堂博子様
桐ヶ窪サロン	亀岡トシ子様
さわやか会	佐藤光雄様
やわたサロン	田中マサ子様
桑の実会	阿部紀子様
成田サロン	佐藤淳子様
六丁目ふれあいサロン	穴戸ヒナ子様
ぽかぽかクラブ	半澤イツ様
スマイル	小山美紀子様
	大槻睦子様

多額の浄財を寄付し、社会福祉の進展に寄与した団体

(9団体)

桑折町行政連絡員連合会会長	工藤信悦様
桑折町老人クラブ連合会会長	野崎清七様
桑折町民生児童委員協議会会長	室井峰夫様
桑折カトリック教会代表	湯澤伸一様
桑折町連合婦人会会長	川名静子様
聖光学院高等学校	桑折町職員一同様
桑折社会福祉協議会職員一同	桑折社会福祉協議会職員一同様
日進建設(株)(特別会員)	熊坂勇司様

本会職員として、永年勤続し表彰された者

(8名)

角田信季	鹿野ちか子
大槻隆徳	渡辺ケイ子
白井禎啓	佐藤みさ子
赤坂あけみ	谷津千枝子

別掲 東日本大震災における 社会福祉協議会の対応

平成23年3月11日に発生した
「平成23年東北地方太平洋沖地震」に
起因する東日本大震災被災の対応



【平成22年度対応】(災害緊急支援)

(1) 法人運営

- ① 当日の評議員会の中止
- ② 児童安全マップ製作延期
- ③ 家族介護者交流事業の中止
- ④ 介護事業所の休止 (施設損壊や燃料不足のため)
 - (ア) やすらぎ園デイサービスセンター 3月12日～3月31日
 - (イ) 大かや園デイサービスセンター 3月12日～3月29日
 - (ウ) やすらぎ園訪問入浴サービス 3月12日～3月24日

(2) 災害対策

- ① 社協の対応(災害対応体制の設置 会長、常務理事以下職員)
 - (ア) 町民避難所(4小学校)訪問 2回 (会長、副会長、常務理事)
 - (イ) 他市町村避難者避難所訪問 4回
(陸合ふれあい会館、伊達崎公民館：会長、副会長、常務理事、佐藤理事、畠腹理事)
 - (ウ) 他市町村避難者慰問品配布 (下着類) 陸合18人、伊達崎88人
 - (エ) 町内施設訪問 (会長、副会長、常務理事)
 - (オ) 一人暮らし高齢者がれき排除事業 (シルバー人材センター) への協力 希望者2人
 - (カ) 災害ボランティアセンター開設
 - (キ) 救援物資配布(町災害対策本部に協力) 一人暮らし高齢者 約250世帯 高齢者世帯 約50世帯
- ② 介護事業所の対応
 - (ア) 利用者の安否確認 11日、12日 (全員確認)
 - (イ) デイサービスセンター、訪問入浴サービス利用者に対して自宅を訪問し清拭サービス
デイサービス 延38人、入浴サービス 延28人
 - (ウ) やすらぎデイでは、利用者の身体保清のために入浴サービスのみ提供 延31人
- ③ 日赤桑折町分区の対応
 - (ア) 町内避難者への備蓄毛布 (26枚) 及び非常食 (ハイゼックス) の供出 (4,200食分：米は町等が負担)
 - ・ハイゼックスによる炊飯食数 (1食あたり350袋、2人分/1袋)
11日夕食、12日朝食・昼食・夕食、13日朝食・昼食 計6回
350袋×2人分×6回=4,200食分 (2,100袋)
 - ・炊き出しに従事した主な職員数 5名
 - (イ) 赤十字奉仕団による炊き出し 12日～14日 (警察職員へ)



避難所への炊き出し、全国から寄せられた寄附の品の仕分け作業



ボランティアによる家の片付け

(3) 災害ボランティアセンター事業

登録者数	137名
活動依頼件数	102件
活動件数	99件
主な内容	○一人暮らし高齢者宅のがれきの運搬及び家具の移動 ○物品配布の手伝い ○避難所でのマッサージ ○避難所で子供の遊び相手 など

【平成23年度対応】(災害緊急支援)

(1) 法人として対応

- ①災害見舞金の支給 4月8日理事会決定
町内の家屋全壊世帯 49世帯×@20,000円=980,000円支給 平成23年4月9日から実施
- ②熱中症予防のためやすらぎデイ、事務所へ4ヶ月(6月～10月)のエアコン設置(リース)
- ③ 児童遊び場9ヶ所の放射線測定結果が全体的に高い傾向だったため6月26日から使用禁止
- ④ 線量計を2台購入し、やすらぎデイ、大かやデイで測定
- ⑤ふれあい館の屋根補修(震災により瓦屋根破損)

(2) 介護事業所の対応

- ①やすらぎ園デイサービスセンター
4月 1日 訪問清拭サービス提供(無料)
4月 4日～4月9日 施設入浴サービス提供(無料)
4月11日～5月7日 短時間のサービス提供(9:30～13:00 有料)
- ②その他のサービスは通常どおりサービス提供

(3) 桑折町児童館主催による、桑折町内の預かり学童に対して自然体験活動事業の活動費を助成 助成額 325,620円

実施日	場 所	参加人数
【第1回】平成23年 8月 2日	山形県山形市 馬見ヶ崎プール	学童124人
【第2回】平成23年10月24日	宮城県川崎町 国営みちのく杜の湖畔公園	学童127人

(4) 東日本大震災で全壊した世帯に対し、見舞品として町内在住者にはおせち料理を、町外在住者には商品券を配布

実施日	平成23年12月30日 仮設住宅入居者に対しては代表者に配布を依頼し、その他についてはやすらぎ園において配布
調理依頼先	割烹仙台屋(一人暮らし高齢者おせち配布事業と同業者を選定)
配布要領	単身世帯にはおせち料理を1個、複数世帯には2個配布。商品券は世帯の状況にかかわらず5,000円分を配布
対象者世帯数	53世帯
利用世帯数	町内(おせち料理) 47世帯 町外(商品券) 4世帯



桑折町内預り学童の自然体験活動



仮設での講話(本会 鈴木会長)

【平成24年度対応】（被災避難者生活支援）

(1) 桑折駅前仮設住宅に入居している浪江町民との交流のため、上町商店会が中心となり町民との交流事業を実施

実施日	平成24年8月5日
場所	薬師堂（上町）境内及び駐車場
内容	盆踊り、浪江焼そば売店などの設営
助成額	80,000円

(2) 東日本大震災で全壊した世帯に対し、見舞品としておせち料理を配布

実施日	平成24年12月30日 仮設住宅入居者に対しては代表者に配布を依頼し、その他についてはやすらぎ園において配布
調理依頼先	うぶかの郷
配布要領	1世帯あたり1個配布
配布世帯数	40世帯
事業費	400,000円

(3) 桑折駅前仮設住宅に入居している浪江町民との交流を図るために、町女団連・御蔵運営ボランティア団体が行う、心の復興と風評被害払拭を願った「桃雛」の製作事業に対し助成

実施日	平成25年1月30日
会場	桑折駅前仮設住宅第2集会場
内容	○桃雛・野菜の吊るし雛製作の手順の説明と製作 ○交流のための会食
助成額	92,561円

(4) 桑折町児童館主催による、桑折町内の預かり学童に対して自然体験活動事業の活動費を助成

実施日	場所	参加人数	助成額
【第1回】平成24年 6月11日	猪苗代町 ホテルリステル猪苗代 アスレチック・グラススライダー等	学童 68名 大人 8名	185,000円
【第2回】平成24年 8月10日	山形県山形市 馬見ヶ崎プールジャバ ※町内全域の学童	学童 126名 大人 15名	60,000円
【第3回】平成24年10月28日	宮城県川崎町 国営みちのく杜の湖畔公園 (親子ふれあい教室：芋煮会)	学童 25名 大人 20名	200,900円
【第4回】平成25年 3月26日	猪苗代町 磐梯青年の家 そり遊び・ワークショップ等	学童 24名 大人 3名	54,100円



仮設住民と幼稚園児交流会



平成24年度譲芳中生による仮設住宅表札づくり



平成27年度被災者交流事業(桃のコンポート作り)



平成26年度台湾共募助成による避難者支援事業(左：遠藤ヶ滝遊歩道 右：猪苗代)



【平成25年度対応】

(1) 避難者交流事業の実施に対し助成

- 上町商店会 助成額 80,000円
- 文化財保存会（町内の史跡めぐり） 助成額 36,750円

(2) 桑折町児童館主催による、桑折町内の預かり学童に対して自然体験活動事業の活動費を助成 助成額 500,000円

【平成26年度対応】

(1) 台湾共同募金会「東日本大震災救援プロジェクト」助成事業（避難者支援） 助成額 390,000円

- 桑折・福島史跡めぐり ○桑折町内史跡・文化財めぐり
- 健康ウォーキング（こおり歩いて楽しむ会協力）2回

(2) 被災者交流事業の実施に対し助成

- 桑折御蔵（元気こおり本舗有限責任事業組合） 助成額 100,000円
- 上町商店会 助成額 80,000円

【平成27年度対応】

(1) 台湾共同募金会「東日本大震災救援プロジェクト」助成事業（避難者支援） 助成額 390,000円

- ふくしま花めぐりツアー（平田村ジュピタランドひらた、母畑温泉）
- やまがた花めぐりツアー（川西ダリヤ園）

(2) 被災者交流事業の実施に対し助成

- コスモス手作り会（女性団体連絡協議会） 助成額 55,000円
- 町食生活改善推進員会 助成額 50,000円
- 上町商店会 助成額 80,000円

【平成28年度対応】

(1) 台湾共同募金会「東日本大震災救援プロジェクト」助成事業（避難者支援） 助成額 400,000円

- やまがた花めぐりツアー（長井あやめ公園、卯の花温泉） ○ころり観音参り

(2) 被災者交流事業の実施に対し助成

- 町食生活改善推進員会 助成額 30,000円
- 上町商店会 助成額 40,000円

【平成29年度対応】

(1) 台湾共同募金会「東日本大震災救援プロジェクト」助成事業（避難者支援） 助成額 240,000円

- 那須フラワーワールド



平成 28 年度被災者支援事業渋谷秀子さん歌謡ショー



平成 27 年度避難者支援事業（左：ダリヤ園 右：母畑温泉）



平成 28 年度避難者交流事業（左：長井あやめ公園 右：会津ころり観音）



味の素ふれあいの赤いエプロンプロジェクト

【資料編】桑折町社会福祉協議会の主な歩み

(30周年以降10年間)

年度	会長	主な事業
平成19年度	八巻 恒造	<ul style="list-style-type: none"> 法人設立30周年事業として記念誌発行(11月20日) 日下厚会長就任(12月11日)
”		
平成20年度		<ul style="list-style-type: none"> 1人暮らし高齢者及び生活困窮者に設置義務となった火災報知器の設置 町内児童施設のPTAにAEDを交付 高齢者を悪徳商法から守る『防犯川柳』の募集(共催桑折警察署) 訪問入浴事業所等職員休憩室の設置 (社団)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会より福祉巡回車の寄贈
平成21年度		<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災・原発事故発生(平成23年3月11日)災害ボランティアセンター設置(活動内容別掲)
平成22年度	日下 厚	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災のため、社協会費の徴収見送り 民生委員協議会事務局を町から社協に移管 児童安全マップ作成配布 ご遺志基金を活用し、福祉バスの購入
平成23年度		<ul style="list-style-type: none"> 小野晟 事務局長退任 石幡正則 事務局長就任(4月1日) 職員給与規則・就業規則の一部改正
平成24年度		<ul style="list-style-type: none"> おせち料理配布を終了し、対象を70歳以上の1人暮らし高齢者及び80歳以上の2人世帯へと広く義援金の支給開始 24時間テレビチャリティ委員会より送迎車寄贈 職員給与規則・就業規則の全面改正
平成25年度		<ul style="list-style-type: none"> ジャパンゴルフツアー選手会より福祉車輛寄贈
平成26年度		



平成26年度24時間テレビ送迎車寄贈



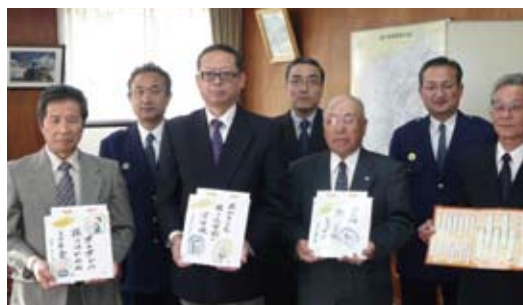
平成22年度生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会より寄贈



平成20年度AED交付式



平成24年度福祉バス購入



平成21年度「防犯川柳」の募集





桑折いきいきサポートセンターもも館



平成29年度桑折いきいきサポートセンターもも館の開所



やすらぎデイサテライトももオープン



平成 28 年度熊本地震へ募金（日赤福島県支部にて）



平成 28 年度生命保険協会より寄贈



平成 27 年度ホームページの開設



平成26年度ジャパングolfツアー選手会より寄贈



平成 28 年度ふれあい館改修・リニューアルオープン



平成 27 年度戦没者慰霊祭



平成29年度	平成28年度	平成27年度
鈴木 研宗		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人設立40周年記念・社会福祉大会の開催(10月15日) ・ 桑折町事業所連携シンポジウムの開催(11月21日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法の改正を受け社協定款の全面改正 ・ 桑折いきいきサポートセンターもも館の開所(6月1日) ・ やすらぎデイサテライトももも事業開始 ・ 毎週日曜日もも館において元氣シニアクラブ発足 (運営は社協職員等による有償ボランティア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴木研宗会長就任(6月1日) ・ ホームページの開設 ・ ご遺志基金を活用し、戦後70年町戦没者慰霊祭の実施(桑折町の追悼式に併せて慰霊祭を町遺族会と共催)10月24日300名参列 ・ 町補助を受けて、ふれあい館の改修・リニューアルオープン ・ 訪問入浴事業の休止(4月1日) ・ 熊本地震災害対応(町内会等より1,625千円の募金) ・ 社協法人会費1口2,000円から1口5,000円へ ・ 社協だより年4回の発行 ・ ご遺志基金等を活用し、介護予防機能訓練機器・送迎車の購入 ・ 生命保険協会福島県協会より福祉巡回車の寄贈

—— 感謝をこめて ——

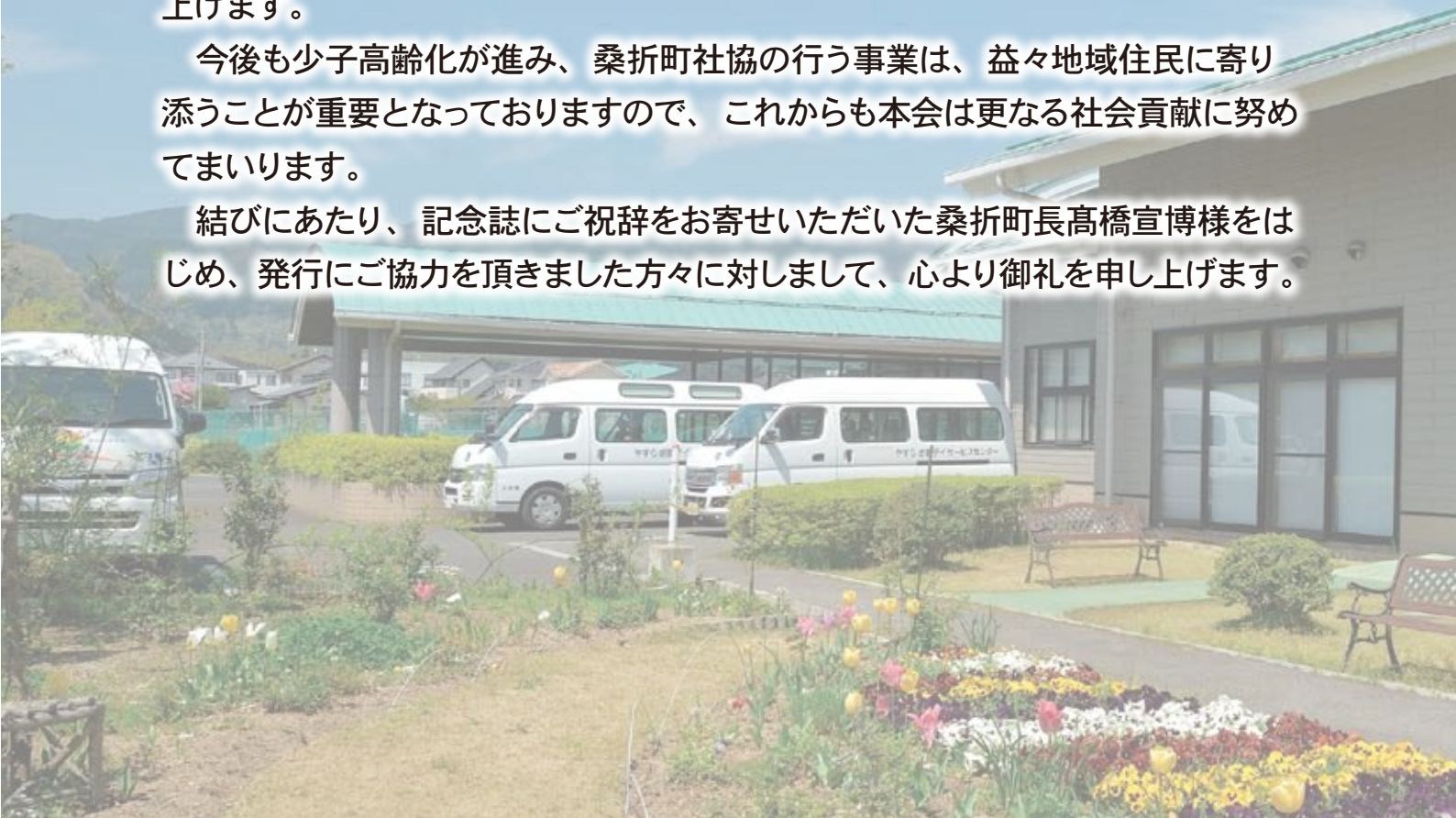
あとがき

桑折町社会福祉協議会では、昭和 52 年に社会福祉法人を設立してから 40 年を迎えるにあたり、設立 30 年以降の事業活動等をまとめた記念誌を発行させていただきました。

これまで桑折町社協は、創立当初から、行政・住民・法人・事業所様など多くの皆様に支えられ、事業を展開することができました。心から感謝を申し上げます。

今後も少子高齢化が進み、桑折町社協の行う事業は、益々地域住民に寄り添うことが重要となっておりますので、これからも本会は更なる社会貢献に努めてまいります。

結びにあたり、記念誌にご祝辞をお寄せいただいた桑折町長高橋宣博様をはじめ、発行にご協力を頂きました方々に対しまして、心より御礼を申し上げます。



 **社会福祉法人 桑折町社会福祉協議会**

法人設立 40 周年記念誌

発行日：平成 30 年 3 月 22 日

発行者：社会福祉法人桑折町社会福祉協議会

発行責任者：会長 鈴木研宗

住所：〒969-1643 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下 22 番地

TEL：024-582-1155

FAX：024-581-0256

E-mail: chiiki@koori-shakyo.or.jp

<http://www.koori-shakyo.or.jp>